

グロースアップ



赤い羽根募金に協力を

10月1日から赤い羽根共同募金運動がスタート。この運動は、地域の福祉を支えることを趣旨として行われるもの。市役所正面玄関前でも街頭募金を行い、高木市長や市自治会連合会などの関係者が訪れた人などに協力を呼び掛けました。



憩いの場が改装オープン

しきしま老人福祉センターで10月1日、改装オープン記念式典を開催。子どもたちの歌や踊り、消防音楽隊の演奏などで、盛大に祝いました。館内が明るくなり、より使いやすくなった同センター。ぜひ、利用してください。

違いを知ろう毒キノコ



10月3日、県生涯学習センターで楽しく学ぼうきのこ塾が行われました。毒キノコのパネルや写真、代表的な実物が展示されたほか講演会も開催。参加者はキノコに関する食中毒予防の知識を高めました。

市民の手で森を守る

9月26日、富士見町赤城山の昭和の森で草刈り作業を実施。自然環境を考える拠点の森を、市民の手で整備し、緑の環境を守るために行われたもので、ボランティア250人が参加。さわやかな汗を流しながら作業を行いました。



いきいきまえばし人



算数オリンピックで銅メダル

伊佐 碩恭くん・12歳
千代田町一丁目

失敗を恐れずいつも前向きに

日本と中国の小中学生が数学的な思考力を競う算数オリンピック。小学6年生以下の部門で見事、銅メダルに輝いた。

「初めて出場したのが、小3のとき。それから徐々に順位を上げることができ、昨年は1問のミスでメダルを逃したので、ことは本当にうれしかったです」

幼いころから数字や記号が大好きで、一日中眺めていても飽きなかった。4歳で100マス計算に興味を持ってから、数字の世界に夢中。その後、小2のときに算数オリンピックに挑戦したいと発起し、過去問題中心の対策を毎日遅くまで取り組んだ。今回のメダル獲得はその努力の結晶である。

「問題を解くのが楽しくて仕方がないです。両親から早く寝なさいと言われるので、布団の中で懐中電灯をつけながらこっそり勉強していたことも」
勉強のほかには、学校でクラスの委員長に立候補したり、全国のライバルたちと進んで仲良くなったりと、何ごとにも経験しようとする積極的な一面も見せる。
「失敗を恐れず、常に前向きに考えることを大切にしています。挑戦したいこともいっぱいあって、数学の国際大会や高校生クイズなどにも出てみたいです」
将来の夢は、父と同じ医師になること。可能性は無限大の12歳。これからもいろいろな事にチャレンジし続け、大きく世界に羽ばたいてもらいたい。

わたしたちの学校 ニュース

生徒会長 福嶋 貴音さん

たゆまぬ前進の心で

わたしたちの桂萱中では、誇るべき4つの伝統があります。それは、大きな声での校歌斉唱、積極的な清掃、一糸乱れぬ行進、そして毎日あいさつを交わすことです。中でもあいさつは学校の内外を問わず行われ、近隣の人たちからも「とても気持ちが良い」と言ってもらっています。



積極的にあいさつ



声をそろえてみんなで歌う

さらに平成18年度から、「愛・あいさつ・ありがとう」運動が始まりました。「愛」は地球への愛を込めたペットボトルキャップの回収。「あいさつ」は、有志が登校時に校門前に並び、声を掛けるあいさつ運動です。これらの活動を生徒会では、新たな取り組みにもチャレンジしています。ことは、「生徒交流会」として全校生徒でビンゴ大会を開催しました。景品はささやかな物でしたが、たくさん生徒から「また開催してほしい」という声が届き、大好評でした。この交流会では、みんなで楽しい時間を共有することができ、「学年の垣根を越えた友好」という、生徒会の目標に近づけました。

このように、生徒全員が伝統を守りながらも日々前進する心を大切に、桂萱中をますます発展させていきます。